

2024年1月30日

日清製粉グループ 第3四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

2024年3月期第3四半期連結累計期間の業績については、製粉事業及び中食・惣菜事業の堅調な業績に加え、食品事業の業績回復により、大幅な増収増益。
通期連結業績予想については、直近予想を据え置き。

[2024年3月期第3四半期連結累計期間決算]

売上高	6,506億81百万円	(前年同期比108.4%)
営業利益	418億94百万円	(前年同期比164.5%)
経常利益	433億21百万円	(前年同期比160.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	295億17百万円	(前年同期比 —)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2024年3月期第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は、製粉事業における小麦粉価格改定の実施や熊本製粉株式会社の新規連結効果、食品事業や中食・惣菜事業での製品価格改定の実施等により、6,506億81百万円(前年同期比108.4%)となりました。利益面では、各事業において前期にコスト上昇に対して価格転嫁が遅れた部分も含めた価格改定の実施に加え、製粉事業における熊本製粉株式会社の新規連結効果、国内における副産物のふすま販売価格の堅調な推移、豪州製粉事業の前期の減損損失計上に伴うのれん等の償却費の減少、食品事業の業績回復及び中食・惣菜事業の堅調な業績等により、営業利益は418億円94百万円(前年同期比164.5%)、経常利益は433億円21百万円(前年同期比160.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は295億円17百万円(前年同期は229億12百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

[2024年3月期通期連結業績予想]

当社グループは、小麦粉をはじめとする「食」の安定供給という社会的使命を果たすとともに、食の中心企業として成長を継続していくため、「日清製粉グループ 中期経営計画2026」で掲げた目標の達成に向けて、当期は、事業ポートフォリオの再構築によるグループ成長力の促進、食糧インフレへの対応、豪州製粉事業の業績回復、環境政策、デジタル戦略を最優先課題としてグループ一丸となって取り組んでおります。

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は8,500億円(前期比106.4%)、営業利益は460億円(前期比140.1%)、経常利益は470億円(前期比142.2%)、親会社株主に帰属する当期純利益は300億円(前期は103億81百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)と、昨年10月27日に公表した業績予想を据え置いております。

当期の配当につきましては、連結ベースでの配当性向40%以上を基準として配当を行う基本方針のもと、昨年10月27日に公表した通り、前年に比べて2円の増配となる年間42円とし、これにより、実質11年連続の増配となる予定です。

以上